

議会だより

No.184(R5.11.1発行)

令和5年 第3回浦臼町議会定例会 一般質問

第3回定例会は9月12日に開催し、6議員から一般質問がありましたので、内容を要約し報告します。



すなば あきら 砂場 明	ヤングケアラーの対応	6ページ
なかがわきよみ 中川清美	浦臼小学校の複式学級についての所感と今後の対応 浦臼小学校・中学校にエアコンの設置を求める	7ページ
のざきひろやす 野崎敬恭	新規就農者の活用及び農地の取得について	8ページ
しずかわひろみ 静川広巳	浦臼町のALT（外国語指導助手）について 小中学校にエアコンの設置を	8ページ
つちやしんいち 土屋慎一	浦臼町立学校のエアコン設置について 「えみる」の有効活用 具体的な計画について	9ページ
こまつまさとし 小松正年	カーボンニュートラルの取り組みについて	10ページ

ヤングケアラーの対応

〇質問

数年前よりヤングケアラーの問題が表面化している。浦臼町も例外ではなく、悩んでいる子どももいるのは。大部分は兄弟の世話や家事をしている。

子どもたちからヤングケアラーの相談やそれと思わしき子どもはいたのか。今後のヤングケアラーの対応について教育長に伺う。

また、町にヤングケアラーの相談や通報はあったのか。どのような支援策や施策が考えられるか町長の意見を伺う。

△教育長答弁

現在まで、ヤングケアラーに関する相談はない。思わしき児童・生徒もいない。一番身近な学校現場・教職



砂場議員

員向けにヤングケアラー支援のガイドラインがあり早期の発見につながる手法が示されている。本町の中学校では校内研修を積極的に行い、早期発見・対応に努めている。

A町長答弁

相談されたケースや通報は今までにない。ヤングケアラー問題を含め妊娠期から面接相談、家庭訪問、健診相談等をしている。相談窓口の周知、教育委員会・教諭との連携、医療、障がい福祉など他分野との連携が重要になってくる。

Q再質問

教育が大事なのではないかと考える。ケアラーの教育をどう考えるか。

また、町全体で考え行動することが大事だ。条例の制定は。親自体も無自覚のまま子どもをケアラーにしているケースもある。周知する対応は。

A教育長再答弁

啓発は大切で、授業で行うかは別として、児童生徒

に対する啓発、教職員の認知等の向上をやっていく。子どもたちのヤングケアラーの認知度を上げていきたい。

A町長再答弁

条例の制定は調査をさせていただく。周知は他の問題、課題ともあわせ、住民周知に努めていきたい。

Q再々質問

早期発見が大事だ。以前は家庭訪問などである程度家庭での兆候が見えた。

また、認知することが大事だ。情報共有にはPTAは欠かせない。この問題が

根深い理由としてプライバシーや家族観、倫理観の高い壁が存在するが、悩んでいる子どもを放っておく理由にはならない。しっかりとした対策の構築を町長に求める。

A教育長再々答弁

子どもの変化に気づくよう教職員の感覚も研ぎ澄ましなから、対応していく。

A町長再々答弁

PTA 自体教育委員会所

管の組織であり、町としてどう関わっていくか教育委員会と協議していく。町としても、できることをやっていきたい。



中山議員

浦臼小学校の複式学級についての所感と今後の対応

Q質問

現在、小学校の2年生は7名、3年生は8名であり、法律の定めにより複式学級の対象となった。

現状は単独で教員1名を採用し複式学級には至っていないが、今後将来の少子化を鑑みたときに危惧され、町長と教育長の所感と今後の対応について問う。

A町長答弁

教育委員会との浦臼町総合教育会議で要望のあった

複式学級解消のため町単費で教員を1名採用している。将来的には、義務教育の再編などを含め教育委員会との情報共有を行い、最適な学習環境の整備について検討していく。

A教育長答弁

今後は少子化や中1ギャップへの対応、小学校校舎の老朽化などを総合的にとらえ、小中一貫校や学校の再編について検討を始める。なければならないと考えている。

浦臼小学校・中学校にエアコンの設置を求める

Q質問

北海道では連日30度を超える真夏日となり、記録更新となった。

気象庁からもスマホに連日熱中症警戒アラートが発令され、また国連のグレートス委員長は地球沸騰時代の宣言も出している。

A町長答弁

文科科学省において、望

ましい学校の温度基準としては18度から28度と示されている。町にはエアコンの設置の英断を求める。

A町長答弁

本年は異常と言える高温と猛暑日が8月末まで続くなど、安心・安全な教育環境を維持するのが困難になっってきているとの報告を受けている。

町としては、次年度以降エアコンの設置に向け、教育委員会と協議していく。

Q再質問

万が一の事故の場合は責任の押しつけあいにもなりかねず、町には命を守る政策が求められていると思う。また、子どもは自己主張がなかなかできなく、体調の変化を言葉に出せず我慢をしてしまう。子どもは安心・安全な教育を受ける権利があり、町にはその義務があると考えるが。

A町長答弁

町の義務については、子どもたちが安心して学習し、成長する場として学校があ

るので、通常そこが危険と
いうことはあり得ないこと
だと考える。教育委員会と
学校やPTAとの話し合いを
通じてたたき台を作り、来
年度に向けての考え方を決
定していきたい。



野崎議員

**新規就農者の活用及び
農地の取得について**

Q 質問

①新規就農者の話があった
ようだが、その後の進捗は。
②今後の就農者募集にあた
り、農地や住宅確保の対策
は進んでいるのか。
③総務省の集落支援制度の
専任アドバイザー採用につ
いて、道職員など農業に強
い人材も含めて検討しては。
④将来浦臼の農業には新規
就農者の力が必要と考える。
農家戸数を増やすための農

業の多様化について、町長
の考えは。

A 町長答弁

①新規就農者の受け入れに
ついて、現在1名の方と話
を進めている。6月17日に
札幌市で開催された北海道
新規就農フェアにおいて、
多くの市町村の中から当町
に興味を持ち、新規就農者
お試し体験として7月25日
から2日間本町で農業体験
をされた。今後さらに1週
間程度の体験を行う予定。

②農地の確保は重要な対策
だが、新規就農のめどがな
い段階で農地を取得し維持
する事は非常に困難を伴う。
今は各生産部会などから情
報収集し候補地を把握して、
就農研修生が研修を開始し
てから希望の経営形態に沿
った就農地の確保に努めた
い。

住宅はお試し体験のため
1軒を確保している。新規
就農研修生が入る住宅は12
月頃に改修を終える予定で
ある。
③専任アドバイザーは、町

の地域性を理解し農業や経
営に精通した人材を求めて
いる。提案の道職員も含め
適材な方がいれば採用した
い。

④農業の多様化については、
新規就農者を募集するにあ
たり、施設園芸への就農を
優先して勧めている。

施設園芸は土地利用型と
比較して初期投資が低く、
単位面積当たりの収益が高
いため新規就農に適当だが、
本人の考えもあるので、話
合いの中で最善の就農形態
を提案したい。

新規就農者対策は今年度
本格的に開始したところで
あり、結果が出るまで時間
はかかると思うが、新規就
農を検討している方の思い
を実現できるよう丁寧に対
応し、早期受け入れ実現に
向け取り組んで行く。

Q 再質問

農地及び家屋を事前に確
保し、就農者に対し農地の
提供がミスマッチ状態にな
らないように考えていただ
きたい。また農地中間管理

機構、農地バンクは利用で
きないか。

A 町長再答弁

町自体が農地を持つこと
は難しいので別な形での保
有になると思うが、近隣町
に確認してもそこまで至っ
ていない町が大多数である。

また、他町では事前に確
保した農地と新規就農者の
方のマッチングができず
塩漬けになっているという
話も聞いているので、別の
形で適地を提供できるよう
今後進めていきたい。



静山議員

**浦臼町のALT（外国
語指導助手）について**

Q 質問

現在のALT（外国語指
導助手）の方は長年携わっ
ているが、今後も継続して
いただけるのか。また万が

一継続できない場合、AL
Tの確保は。

A 教育長答弁

現在、ALTを請け負っ
ている方が母国での教員免
許を取得するため教育実習
を受けている状況であるが、
本町を離れると決定してい
る状況ではないので、今の
段階では次年度も契約を継
続したいと思っている。

しかしながら、本町を離
れると決断された場合には、
早急にALTの派遣を行っ
ている信頼のできる事業者
に依頼し、来年度以降の人
材を確保していきたい。

Q 再質問

もし新しいALTを採用
する場合、契約については
どのような形になるか。

A 教育長答弁

ALTの質を確保するた
めには、派遣を行なえる事
業者と契約するのが良いと
考える。本町の求める人材
で、能力の高い方に長く居
てほしいというのが希望な
ので、最初は1年契約にな
ると思っているが、派遣さ

れるA-LTを町がそもそも選べるのかという部分もあるのですが、その辺りは十分派遣をする業者と協議をしていきたい。

小中学校にエアコンの設置を

Q 質問

7月より気温が異常に高い状況が続き、8月の道内では記録的な猛暑が続いた。こうした中で、大人はもとより子どもたちの健康への影響を相当懸念する声が上がっている。

浦臼町も例外ではなく異例の猛暑が続いた。小中学校には冷房設備はなく天井に扇風機があるだけで、気温と湿度が異常に高いときには余り効果がなく、児童生徒からもエアコン設置の声が上がっている。

今後、この異常気象はまだまだ続く予想されることから、子どもたちや先生方の健康もあるので、ぜひエアコンもしくはクーラーの設

置について考えていただきたい。

また浦臼町は、子ども子育て支援の町だと思っているので、町長の考え方についても伺う。

A 教育長答弁

令和2年第3回定例会で小中学校への空調設備の設置についての質問があり、現状でできる別の対策を行いながら、エアコンの設置については検討する旨の答弁をした。

しかしながら、現在の気候の状況を考えると、すべての教室が児童生徒の安心・安全で快適な学習環境とは言えず、小中学校ともに現在エアコンが設置されているパソコン教室や保健室を活用し授業を行うなど、猛暑への対応をしてきたが、学校としての対応も限界に近い状況になっている。

教育委員会としては、次年度以降のエアコン設置に向け学校と協議を行い、補助金などの活用を考慮しつつ安全・安心で快適な学習

環境を構築するため、適切な設置案の検討を行い、町と協議をしていく。

A 町長答弁

次年度以降の設置に向け、教育委員会と協議・検討をしていく。

Q 再質問

次年度の夏までには設置の工事を終わらせる必要があると思うので、早い時期での検討が必要では。

A 町長答弁

時期的な問題を含めて設置に向け教育委員会と協議・検討していく。



土屋議員

浦臼町立学校のエアコン設置について

Q 質問

今年の夏は猛暑にみまわれ、学校では学習時間の短縮など一時的な対応をとった。エアコンの設置は、子供の命の危険にかかわる事、設置方向へ検討という答弁があった中で、一歩踏み込んで町行政が子供たちを守るために手を施すということが大切だが、考えを問う。

A 教育長答弁

来年から設置をするというところで考えているし、努力したい。

「えみる」の有効活用 具体的な計画について

Q 質問

開設にあたり、多くの町

民が参加できるオープンイベント、またその後の活用計画と町民に利用を呼びかけの具体例、周知徹底のための広報計画を問う。

A 町長答弁

多世代交流施設「えみる」は、子供から高齢者に至る全ての世代が自由に集い、にぎわいの創出や交流を図ることを目的とする。開館にあわせオープンイベントを開催する予定。今後、指定管理者と内容を検討し決定していく。

施設の運営、事業の企画は、指定管理者が主体的に進めていくが、軌道に乗るまでは連携・協力を図りながら施設の利用促進に努める。

周知徹底のための広報活動は、指定管理者によるPRも要請するが施設の概要や特性がわかるチラシの作成、浦臼町公式ホームページや広報紙でも施設の活発な利用に向けた情報を随時お知らせしていく。

Q 再質問

今のうちから当施設の利用計画を町発信で出していく必要がある。一歩踏み込んだ、企画はあるのか問う。

A町長再答弁

まず第一にすべきは、普段使いに利用してもらうことが大切。集ってもらえるような仕組みを作る。その中で利用の輪が広がっていくような形としての施設運営を予定している。



小松議員

カーボンニュートラルの取り組みについて

Q質問

令和5年度町政執行方針の中で、ゼロカーボンシティーを目指すことを宣言した。その取り組みについて町長に伺う。

①所管はどこか。また、脱炭素のロードマップを示し

ていただきたい。
②具体的なものや構想的なものがあれば示していただきたい。

③二酸化炭素排出対策事業交付金などに取り組み考えはないか。

※カーボンニュートラル：CO2等の温室効果ガスの排出量と森林等による吸収量を均衡させ、実質的な排出量をゼロにすること。

A町長答弁

①所管は、総務課が担当となる。ロードマップの策定に必要なスキルやノウハウ、高度な専門知識の習得が不足しており、現在策定までには至っていない。新エネルギーコーディネーター支援事業を活用し、ロードマップ策定に向けて検討している。

②公共施設等LED化と消灯の励行、クール・ウォームビズによる冷暖房温度の適正化、資源リサイクル等に取り組んでいる。来年度建設予定の町立診療所では、太陽光発電の設置を検討し

ている。
③交付金事業の取り組みは必要な補助メニューの活用を検討する。

Q再質問

町長がやりたい具体的な内容はあるのか。

A町長再答弁

カーボンニュートラルの実現は、町民・事業者・行政が一体となって取り組みなければ達成できない課題であり、段階を踏みながら脱炭素社会に向け取り組んでいきたい。

3月に急ぎよ宣言したが、環境省の方から、自治体排出量カルテという数字が公表された。

浦臼町のCO2排出量は令和2年度で2万1,000トンと試算をされ、2030年、国は46%のCO2削減を目標とし、町にも達成してほしいと要請している。

これから計画を立てるにしてもロードマップを立てるにしても、この2万1,000トンのうち9,66

0トン、46%をいかに減らしていくかが計画の具体的な中身になってくる。

再生可能エネルギーの賦存量についても、風力よりはソーラー発電が現実的な選択になっていくと思う。

それを公共施設や一般の家にも設置していかなければ、本当に効果が出てこないということになる。そうすると補助事業等で支援していくということになるが、46%のCO2削減は本当に難しい数字だと思っている。

この削減に向けて町が何をしたいのか、ソーラーもその一つではあるが、もう少し詰めないと簡単なこととは言えない。

Q再々質問

ゼロカーボンについての情報を全体に行き渡るように広報活動をしては。

A町長再々答弁

ゼロカーボンという言葉が先行しているが、こうすればこうなるというような何か例を示した上で、広報に努めていきたい。

議会の活動状況がインターネットでもわかります



議決結果、一般質問通告、会議録等を公開しています。
左のQRコードから浦臼町議会のページを開けます。
(<https://www.town.urausu.hokkaido.jp/gyousei/gikai/>)

総務産業常任委員会報告

〈調査日8月8日〉

『浦臼ライスターミナル設備の検証と今後について』

浦臼ライスターミナルは平成12年度に供用が開始され、23年が経過している。これまで施設能力を活かした均質化ブレンドにより高品位良質米の出荷を行ってきた。その結果、良質米産地としての評価を高め、産地指定率が年々増加し、早期契約の割合が80%を超える状況となっている。

稼働状況においては、収穫時期の集中により受入れが混雑している状況にある。特に半乾籾については、規模拡大などにより集荷希望が年々増加しており、施設処理能力を大幅に超えた荷受数量となり、長時間の荷受け待ちが発生している。

施設の状況としては、供用開始から23年が経過し、設備の更新、修繕などの費用が増加している。直近4か年では、2億6千万円以

上の設備投資がされており、さらに今後は大幅な施設改修が検討されている。荷受ラインの強化や仮置き倉庫の建設、乾燥機やサイロの増設、製造ラインの強化、多目的倉庫や籾殻庫の増設など、多額の資金が必要とされる状況にある。

〈調査結果〉

・今日、ピンネ米が実需より高評価を受けているのは、生産者、農協が一体となり取り組んだ結果であり、大いに評価できるものである。
 ・施設の運営にあたり人員の適正配置に努めていただけでなく、事故防止対策も徹底していただきたい。
 ・今後の大規模設備投資を検討するにあたり、その目標、時期、指針などを示すべきと考える。また資金面では、多方面から検討されると思うが、生産者の利用料に反映されない努力を求める。



寄付行為について

議会議員は、選挙区内で金銭や品物を贈ることは特定の場合を除いて法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解とご協力をお願いいたします。

審議された事件と結果

条例等の審議と結果

- ◆土地改良事業の計画の概要について -可決-
- ◆土地改良事業に関する事務の委託について -可決-
- ◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について -可決-
- ◆指定管理者の指定について（浦臼町多世代交流施設 えみる） -可決-
- ◆令和4年度浦臼町各会計歳入歳出決算の認定について
 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業剰余金の処分及び決算の認定について決算審査特別委員会を設置し、審査します。
 ・決算審査特別委員会 委員長 野崎 敬恭
 副委員長 砂場 明
- ◆教育委員会委員の任命の同意を求めることについて
 任期満了により、次の者を選任することに同意しました。
 ・島 智寛氏

工事請負契約の締結について

◆令和5年度支浦臼内川護岸改修工事

- ・ 契約方法 指名競争入札（最低制限価格適用）
- ・ 契約金額 7,040万円（うち消費税額640万円）
- ・ 契約の相手方 北伸建設工業株式会社 代表取締役 増田 拓也

報告事項

◆専決処分した事件の承認について

固定資産評価審査委員会委員の選任

前委員の辞職に伴い、新たな委員1名を選任したことについて承認しました。

- ・ 森川 勇樹氏

◆令和4年度決算に基づく健全化判断比率の報告について

令和4年度決算に基づく普通会計財政健全化判断比率及び下水道事業会計資金不足比率について報告されました。

普通会計財政健全化判断比率

健全化判断比率	令和4年度 (%)	早期健全化基準 (%)
①実質赤字比率	—	15.0
②連結実質赤字比率	—	20.0
③実質公債費比率	9.2	25.0
④将来負担比率	—	350.0

下水道事業特別会計資金不足比率

比率名	令和4年度 (%)	経営健全化基準 (%)
①資金不足比率	—	20.0

※「—」は、実質収支、連結実質収支が黒字の場合に表示されます。

請願書・意見書

[請願書]

○肥料、燃油などの生産資材高騰対策の強化を求める意見書の請願書

（請願受付第1号）－採択－

- ・ 請願者 浦臼町農民協議会 委員長 前田 浩実
- ・ 紹介議員 静川 広巳

[意見書]

原案のとおり可決し、関係各省庁に提出しました。

○肥料、燃油などの生産資材高騰対策の強化を求める意見書

〈提出先〉内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、衆議院議長、参議院議長

◎令和5年度予算の補正されたもの（第3回定例会）

会計名 (補正番号)	補正後の予算額 (補正額)	補正された主なもの
一般会計 (第4号)	42億8639万7000円 (721万9000円)	住宅リフォーム等補助金 197万円 水利施設管理費（揚水機場電気料等） △963万5000円 道路維持補修工事 200万円 住宅管理費（公営住宅等修繕料） 280万円 浦臼小学校体育館バスケットゴール改修工事 464万1000円

議会の流れ

◎議会運営委員会

9月5日 ・第3回定例会の運営について

◎全員協議会

9月12日 ・令和5年第3回定例会について
・総富地地区（総富地頭首工）の基幹水利施設管理事業への移行実施について
・多世代交流施設（えみる）の指定管理者の選定について
・観光施設リニューアル事業手法検討業務の進捗状況について

◎総務産業常任委員会

8月8日 ・浦臼ライスターミナル設備の検証と今後について

◎議会広報特別委員会

10月12日 ・議会だより第184号の編集



議会広報研修会（8月17日 札幌市）

講演 「伝わる議会報の編集ポイント」
「議会広報クリニック」
（一社）自治体広報広聴研究所
代表理事・広報アドバイザー
金井 茂樹氏



中空知町議会議員親睦交流会

（10月16日 雨竜町）
講演 「被害者支援の大切さ
-ある殺人事件を担当して-」
北海道警察深川警察署
雨竜駐在所長 大根 尚之氏

議
会
で
参
加
し
た
研
修
会
・
交
流
会

編集後記

記録的な酷暑だった夏が終わり、過ごしやすい季節が訪れてきました。コロナウイルスが5類となり、この夏は各地でイベント等が開催されて、いつもの賑やかな夏を満喫できたのではないのでしょうか。一方で依然としてコロナウイルス感染症は発生しているようです。ウィズコロナとしてこれからも生活していくのでしょうか。

浦臼では基幹産業の農業に酷暑の影響が見られます。野菜、畑作、水稲全てで品質低下、収量減少となり農作物全般に被害が及んでいます。涼しくて過ごしやすいい北海道はどこへ行つたのか、こんな暑い夏がいつもの夏にならない事を、そしてこれから迎える冬の雪が多すぎないことを願っています。（高田）

委員長	土屋 慎一
副委員長	高田 英利
委員	静川 広巳
委員	砂場 明